



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.56

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2024年6月30日発行

【本号のトピックス】

第35回学術大会報告／各賞受賞者紹介／理事長あいさつ
本会役員が改選／各種報告／支部だより 等

第35回学術大会が盛会裡に終了しました！

大会長 山崎 裕

(北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野高齢者歯科学教室)

第35回学術大会(6月28～30日)を大過なく盛会裡のうちに終了することができました。本大会は17年ぶりの札幌開催で、コロナ明け初めての単独開催になりました。学会開催中の3日間は30℃を超え、札幌としては暑すぎるほどの晴天に恵まれ、昨年と同じクールビスでの開催としていましたので助かりました。

会員の皆様にはコロナ明けと変わらない多くの演題を頂戴し、また1,600名以上の事前参加登録もいただき心より感謝申し上げます。大会テーマを「人生100年時代を切り拓く～口腔の健康を通して～」とし、高齢者に関する幅広い分野からのプログラムを組むことができました。会場の札幌コンベンションセンターでは、各会場を広く使用でき、すべての口演やポスター

発表を1階に集結させました。ランチョンセミナー前の休憩時間を長く設定し、ポスター会場では演者の配置を工夫いたしました。ゆったりとご視聴いただけたのではないかと思います。

懇親会では、北海道各地の名物グルメとお飲み物を取り揃えましたところ、皆様に大好評でたいへんうれしく思っております。ご参加いただいた方々には、北海道の味覚とアルコールを心ゆくまで堪能していただきながら、会員間の交流を深めていただけたものと思います。

最後に、ご協賛いただいた企業や団体の皆様、学会事務局と運営事務局の皆様のご支援とご尽力に厚く御礼申し上げます。



前回大会長の菊谷先生と
水口前理事長



山崎大会長



平野新理事長



演者の羽村先生と座長の
米山先生(特別講演2)



にぎやかな受付の様子



オーラルフレイル概念図特大パネル



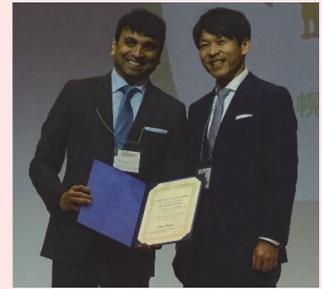
ご当地缶バッジも好評でした



講演会場（シンポジウム1）



ポスター会場



演者の Murali 先生と座長の松尾先生（海外特別講演）



懇親会の盛況ぶり



第 35 回学術大会のスタッフの先生方



2024年度各賞受賞者紹介



【功労賞】

- 水口 俊介（医科歯科大・名誉教授）
- 羽村 章（日歯大・生命歯・高齢者歯科）

【老年歯科医学賞 / 渡邊郁馬賞】

- 釘宮 嘉浩（国立長寿医療研究センター・歯科口腔外科）

【優秀奨励論文賞（ライオンアワード）】

- 中村 純也（国立長寿医療研究センター・歯科口腔外科）

【老年歯科医学 優秀論文賞】

- 原田 真澄（福歯大・成長発達歯・障害者歯科）

【優秀課題口演賞】

- 松尾浩一郎（医科歯科大・院医歯・地域・福祉口腔機能管理）

- 市川 陽子（日歯大・口腔リハ・多摩クリニック）

【優秀ポスター賞】

- 中村 純也（国立長寿医療研究センター・歯科口腔外科）
- 後藤 拓朗（三豊総合病院）
- 佐藤 穂香（国立長寿医療研究センター・歯科口腔外科）



表彰式の一場面



理事長あいさつ

水口 俊介

(2020～2021年度・2022～2023年度理事長)

会員の皆様のご支援によって無事に理事長の任期を終えることができました。ありがとうございました。昨年の総務省からの発表では、総人口の10%が80歳以上、また働く高齢者の数は912万人となり、高齢者の就業率は25.2%と主要国のなかで高い水準であり、65～69歳は50.8%、70～74歳は33.5%となっています。私も66歳となり、これからのことを考えるようになりましたが、これらのデータから少なくとも75歳までは働きたいと考えています。ただ、このパーセンテージ以外の方々は何らかの原因で働けないことを意味しています。本会の目的の一つとして「健康長寿」を掲げてまいりましたが、今後はより具体的に「働ける高齢者の健康を守る」と「要介護高齢者のQOLを守る」を意識したいと考えます。これからも皆様の本会へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平野 浩彦

(2024年度～ 新理事長)

本学会理事長を務めさせていただくことになりました平野浩彦です。老年学の一翼を担う老年歯科医学は、学際的で多様な視点が求められます。本学会のたゆまぬ進歩のためには、学会の活動を支えるメンバー（学会員、委員会委員、役員等）も多様な背景をもつ人材で構成する必要があると考えます。幸いにも本学会会員の構成は、多様性をもち（歯科系大学、病院歯科、地域歯科職能団体（歯科医師会、歯科衛生士会等）の各所属割合が各々約1/3）であり、本学会の大きな強みと考えます。また、日本老年学会（7学会で構成）の一分科会としての特性も活かし、会員の皆様へ広い視点での情報発信を行い、学術大会等が活発な意見交換の場になるよう努めてまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



本会役員が改選されました



2022～2023年度理事：学会運営へのご協力、ありがとうございました。



2024～2025年度理事：2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



支部活動の活発化に向けて ～2024年度支部長会～



支部運営委員会委員長 平野 浩彦

今年度の支部長会は第 35 回学術大会最終日に対面にて開催され、支部運営委員会委員長の平野よりオーラルフレイルに関する話題提供、および玄 景華先生（岐阜）から活動報告があり、その後各ブロックおよび全体で討議しました。オーラルフレイルに関する話題提供では、2024 年 4 月公表の 3 学会合同ステートメントの内容を概説し、今後の啓発等に関して質疑応答を行いました。玄先生による活動報告では、岐阜県多“食”種連携研究会についての報告があり、他学会の地方会や研究会との共催などの開催方法の提案や支部セミナー申請書（日本老年歯科医学会ホームページに掲載）について課題が提示されました。また討議では、オー

ラルフレイルの周知、支部長会や支部組織のあり方、支部セミナー研修会、学会への要望等について熱いディスカッションが行われました。



札幌の地で熱いディスカッションが行われました



歯科衛生士交流会開催報告



歯科衛生士関連委員会委員 丸岡 三紗・石黒 幸枝

2024 年 6 月 30 日（日）、歯科衛生士関連委員会主催の DH カフェを開催しました。カフェ形式での交流会は初の試みでしたが、参加者は 52 名と大盛況でした。今年は参加者の半数が 20～30 代と若手の参加が多く、同じテーブルに集まって名刺交換をし、お菓子を食べながら情報交換を楽しんでいました。参加者からは「自分とは異なる環境で仕事をしている方と話ができてとても勉強になった」「若手同士の横のつながりができ、心強い気持ちになった」などの感想が聞かれました。認定歯科衛生士に関する相談も、会場内の相談コーナーでスムーズに受けることができました。今後もさまざま

まな企画を用意しますので、奮ってご参加ください。



大盛況の交流会（上）と相談コーナーの様子（下）



社会保険委員会技術提案書報告



社会保険委員会委員長 菊谷 武
幹事 古屋 裕康

令和 6 年度診療報酬改定にて、社会保険委員会が中心となって厚生労働省へ提出していた医療技術提案の多くが採用されたことを報告いたします。外来診療、訪問診療における幅広い分野から、口腔細菌定量検査の対象拡大、総合医療管理加算対象疾患の追加、複数名訪問歯科衛生指導加算の新設等、計 13 項目について提案し、その多くが採用されました。日々、高齢者

への歯科診療を真摯に行っている会員の皆様が少しでも報われるような制度改定を目指して、ワークショップや勉強会を繰り返し行い作成した提案内容が認められた形となり、たいへん嬉しく思います。より良い高齢者歯科医療の提供のために、積極的に活用していただければ幸いです。

34th Annual Congress of European College of Gerodontology 参加報告



村上 和裕

(新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野)

2024年6月6～7日にセルビアのベオグラードにて第34回ヨーロッパ老年歯科医学会学術大会が開催されました。本大会は“New Frontiers in Gerodontology”をメインテーマに、さまざまな国から参加者が集いました。招待講演は11講演行われ、口腔機能低下症やポリファーマシー、認知症などの口腔健康と全身健康に関するトピックだけでなく、高齢者の補綴治療や保存修復・歯内療法といった歯科臨床に関するトピックもあり、研究的にも臨床的にも非常に見応えのあるプログラムでした。日本からは、堀一浩先生(新潟大学)と駒ヶ嶺友梨子先生(東京医科歯科大学)がそれぞれ「Mastication behaviors in older people」「Interventions for Oral Hypofunction: Occlusal Force and Oral Dryness」と題した講演をされ、日本の高齢者歯科の取り組みに対してたくさんの質問やコメントが寄せられました。ポスター発表は合計71演題が行われ、高野日南子先生(新潟大学)がBest Poster Awardを受賞されました。

本大会の日本からの参加者は6名と、例年よりも少

なかつたですが、来年は日本からの参加者が増え、日本の老年歯科の最新の取り組みを世界に発信していただけたらと願っております。来年は8月29～30日にスイスのジュネーブで開催予定ですので、皆様奮ってご参加ください。



堀先生(右から3人目)、駒ヶ嶺先生(同4人目)を中心に記念撮影



令和5年度老人保健健康増進等事業 「介護保険施設における歯科専門職による口腔管理に関する調査研究事業」実施報告



特任委員会(老健事業)委員長 渡邊 裕

「介護保険施設における歯科専門職による口腔管理に関する調査研究事業」では、介護保険施設における口腔衛生の管理体制強化のため、歯科専門職と介護職員の関わりの変化による入所者の口腔状態の変化等についての実態把握と現状分析・課題整理を行うことを目的に次の3つの調査事業を実施しました。

1) 介護保険施設入所者における口腔衛生管理体制の普及に関するリーフレットと動画教材に関する調査、2) 口腔衛生管理体制についての計画における「施設職員に対する研修会」等での使用を想定した教材等の作成とその効果の検証、3) 介護保険施設における歯科専門職と介護職員の関わりと入所者の口腔状態の変化等についての実態調査

以上の成果を基に、令和6年度介護報酬改定に係る口腔の健康状態の評価表(A)、入院(所)中及び在宅等における療養中の患者に対する口腔の健康状態の評価に関する基本的な考え方(B)、口腔衛生管理の評価

と実践(テキスト)(C)を作成し公開しました。ぜひご活用のご希望申し上げます。

(A)



(B)



(C)



| 支 | 部 | だ | よ | り |

北海道支部主催
「第23回北海道口腔ケアセミナー」
開催報告

北海道支部 山崎 裕

2024年5月11日(土)に第23回北海道口腔ケアセミナーを昨年と同様、オンラインにて開催しました(参加者98名)。今年度は岩佐康行先生(原土井病院・副院長/歯科部長)に「リハビリテーション・栄養・口腔の連携を進めるヒント」、飯田貴俊先生(北海道医療大学歯学部・摂食機能療法学分野)に「訪問診療でおこなう、摂食嚥下リハビリテーション」をそれぞれご講演いただきました。岩佐先生からは、栄養を中心に今年度の診療報酬改定で強化された栄養、リハビリテーションと口腔の連携に関して、タイムリーなお話をお聞きし、飯田先生からは、訪問診療における摂食嚥下障害の対応を、症例を通して初心者の方にも理解できるようにわかりやすくご説明いただき、会員にとってたいへん有意義なセミナーになりました。



講演中の岩佐先生(左側)と飯田先生(右側)

岐阜支部セミナー
「第4回岐阜県多“食”種連携研究会」
開催報告

岐阜支部 谷口 裕重

岐阜県 多“食”種連携研究会との共催で、標記研究会を2024年5月19日(日)9:30~15:00の日程で、ハイブリッド形式(配信場所:朝日大学)にて開催しました。岐阜県の医療に関連した各職能団体(医師会、歯科医師会、歯科衛生士会他)に加えて、岐阜県からも後援を得て開催されました。

今回は「地域ともっと繋がれ!岐阜県多“食”種連携」をテーマとして、開会挨拶の後、第1部は岐阜県庁から丸山裕士先生、美味しい嚥下食への取り組みとして小島健一様(日本料理 関西)、地域と医療をつなぐ施設の取り組みとして近石壮登先生(近石病院)からご講演いただき、多職種による総合討論も盛り上がりしました。第2部は特別講演として、栢下 淳先生(広島県立大学)に「介護食の未来を展望する」との内容でご講演いただきました。

今回はハイブリッド開催でもあったため、全国からの参加があり、参加者238名(オンライン161名、来場62名、スタッフ15名)、協賛企業15社のご協力によって盛況のうちに終会となりました。県下に幅広く高度な摂食嚥下医療を普及させるために、今後も定期的に研究会、研修会を行う予定です。



総合討論の様子

支部セミナーのご案内

愛知支部セミナー

「第28回東海歯科医療管理学会総会・学術大会」
日 時：2024年8月25日(日) 12:30~16:30(予定)

会 場：愛知県歯科医師会館403会議室

主 催：東海歯科医療管理学会

★詳細は、学会ホームページでご確認ください。

編集後記

10年間務めさせていただいた広報委員会理事を引き継ぎました。会員の皆様には、広報活動に多くのご意見をお寄せいただき、心から感謝申し上げます。ニュースレターはそのなかでも、最も歴史のあるコンテンツとして、今後も皆様のお手元にお送りします。また、会員のみならず社会との繋がりのインフラとしてSNSも今後展開するよう次期に申し送りました。引き続き、広報活動にご協力のほどお願いいたします。(河相安彦)

発行人 平野浩彦

編 集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内

電 話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341

E-mail jsg@kokuhoken.or.jp